

# 第23回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成23年2月

応募者名: 京都府

事業の名称: 福知山駅付近連続立体交差事業

実施都市名: 京都府 福知山市

## 事業目的

福知山駅は、JR3線、北近畿タンゴ鉄道(KTR)のターミナル駅として利用されています。

福知山市は、鉄道により市街地が二分されていたので、人、もの、情報の交流が限られた区域で行われていました。

また、踏切遮断に起因する交通渋滞の解消や、危険な踏切の除却が課題であったことから、まちの更なる発展を目指して、連続立体交差事業に取り組みました。

## 事業概要

事業名称: 福知山駅付近連続立体交差事業

路線名: JR山陰本線ほか2線

北近畿タンゴ鉄道(KTR)宮福線

事業箇所: 京都府 福知山市

事業延長: 約6.1km

事業費: 約315億円

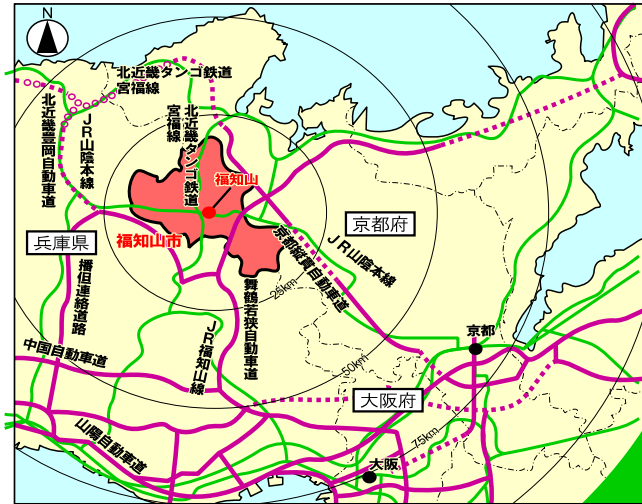
事業実施期間: 平成4年度～平成21年度

鉄道を高架にすることで、9箇所の踏切を除却し、交差する10路線の道路と9路線の側道を整備しました。

平成4年に事業採択を受け、平成17年11月にJR線が高架開通し、平成21年2月にKTR線が高架開通しました。

本府が行う連続立体交差事業にあわせて、福知山市は、同駅周辺で土地区画整理事業と街路事業を実施しており、府市が協力して、魅力あるまちの創造に取り組んでいます。

# 事業位置図



## 全体図(平面図・側面図・横断面図)



### 高架橋縦断面図



# 福知山駅付近連続立体交差事業の 整備効果アピール資料

## ○事業概要

事業名: 福知山駅付近連続立体交差事業  
 路線名: 北近畿タンゴ鉄道(KTR)宮福線  
 JR山陰本線ほか2線  
 事業箇所: 京都府 福知山市  
 事業延長: 約6.1km  
 総事業費: 約315億円  
 事業期間: 平成4年度～平成21年度

## まちが一体



## 渋滞の解消



## 安心・安全



### ○除却踏切(9箇所)の概要

- 踏切遮断時間(遮断時間が最大の踏切)
  - 1時間当たり 33分(ピーク時)
  - 1日当たり 7時間
- 交通量(9箇所の合計)
  - 自動車 23,629台
  - 自転車 10,362台
  - 歩行者 9,255人



### 「整備効果」

#### ・円滑な交通

踏切の遮断により生じる渋滞が解消されたことや、交差する道路を拡幅整備したことで、交通の円滑化に大きく貢献しました。

#### ・まちが一体

鉄道という物理的な「壁」を取り除いたので、市街地が一体となるように新しいまちづくりを土地区画整理事業により進めています。

#### ・安心・安全

駅舎は、だれもが安心して快適に利用できる施設となるようにバリアフリー化を行なうとともに、駅及びその周辺を歩行者が安全に通行できるよう歩道整備を行いました。

### 「その他の事業効果」

#### ・まちづくりの“きっかけ”に...

JR線高架完成後に、周辺住民、鉄道利用者  
 にアンケート調査を実施したところ、約6割の方  
 々から、「今後のまちの発展に期待できる」と回  
 答がありました。

2-1 駅周辺整備による街の発展



# 事業前写真



昭和61年3月撮影



# 事業後写真



平成21年1月撮影

平成22年11月撮影



平成22年2月撮影



平成23年1月撮影

